エンジン関係

現状	原因	処置
スタータが回らない場合	• 間違ったキーでエンジン始動しようとしている。	• "キーが違います　エンジン始動できません"とメータパネルに表示されるので、正しいキーでエンジン始動する。
	• 金属部品（キーホルダなど）をキーに取り付けている。	• 金属部品をキーから外してエンジン始動する。
始動困難な場合	• 燃料が流れない。	• 燃料タンクを点検し、沈殿している不純物や水分を除く。 • 燃料フィルタとウォータセパレータエレメントを点検し、汚れていれば交換する。
	• 燃料送油系統に、空気や水が混入している。	• パイプおよび締付バンドを点検し、損傷があれば新品と交換または補修しておく。 • 空気抜きをする。 （詳細は燃料系統のエア抜き（129 ページ）を参照）
	• 寒冷時にオイル粘度が高く、エンジン自体の回転が重い。	• ラジエータに熱湯をそそぐ。
	• バッテリがあがり気味で、回転力が弱くなって圧縮を越す勢いがない。	• バッテリを充電する。
出力不足の場合	• 燃料不足。	• 燃料を補給する。
	• エアクリーナの目詰まり。	• エレメントを掃除する。
突然停止した場合	• 燃料不足。	• 燃料を補給する。
排気色が異常に黒い場合	• 燃料が悪い。	• 良質の燃料に交換する。
	• エンジンオイルの入り過ぎ。	• 正規のオイル量にする。
水温計の表示が**[H]**を示す時（エンジンのオーバーヒート）	• ウォータポンプのシール不良。	• 交換する。
	• ファンベルトの伸びまたは切断。	• 調整または交換する。
	• サーモスタットの不良。	• 交換する。
	• 冷却水の不足。	• 規定量まで補給する。
	• ラジエータネット、ラジエータフィンのゴミ詰まり。	• 掃除する。
	• ヘッド、クランクケースの錆で冷却水が汚れている。	• 冷却水交換、防錆剤投入する。
	• ラジエータキャップの不良（蒸発）。	• 交換する。
	• 冷却水通路の腐食。	• 洗浄する。
	• 連続過負荷運転。	• 負荷を軽減する。
	• ヘッドガスケットの破損（冷却水の減少）。	• 交換する。
	• エンジンオイルの不足。	• 正規のオイル量にする。
	• 燃料噴射時期の不良。	• 調整する。
	• 燃料が悪い。	• 良質の燃料に交換する。

油圧関係

現状	原因	処置
作業機（ブーム、アーム、バケット）旋回、走行、ブレードの力不足、速度が遅い、または動かない。	• 作動油量の不足。	• 作動油を補給する。
	• ホース、配管継手部よりの油もれ。	• 増締めまたは交換する。

走行関係

現状	原因	処置
うまく走行しない	• クローラに石などがかみこんでいる。	• 除去する。
	• クローラの張りすぎ、ゆるみすぎ。	• 調整する。

制御関係

現状	原因	処置
アームかき込みが動かない（同時に液晶表示部に“アーム制限システム異常”と表示され、ブザーが“ピ、ピ、ピッ”と鳴る。）	• 配線の断線または短絡。	• 交換する。
	• 角度検出装置の破損。	• 認定工場に連絡する。

通信制御関係

現状	原因	処置
稼働情報や位置情報がサーバにあがらない。	• バッテリ接続したまま、長期間稼働していない。	• エンジン始動するなどで、バッテリを充電する。
	• 配線の断線、短絡。	• 交換する。
	• サーバがメンテナンス中。	• メンテナンス期間が終了するまで待って確認して、改善されなければ、認定工場に連絡する。
	• DCU（通信機器）からサーバへの稼働情報や位置情報の送信待機中。	• 最大１日待って確認して、改善されなければ、認定工場に連絡する。
	• サーバが受信した稼働情報や位置情報の処理待機中。	• 最大１日待って確認して、改善されなければ、認定工場に連絡する。